

# 井手英策さんと共に構想する 【日本社会の未来像】



講師

慶應義塾大学経済学部 教授 井手 英策 Ide Eisaku

【ハイブリッド】丸の内キャンパス、オンライン(Zoom)いずれでも参加可能です。

ポストモダン、ポスト冷戦、ポスト戦後日本・・・私たちは、<いま>を「～以後(=ポスト)」という区切りで表現しがちです。では、歴史は断絶しているのでしょうか?そんなことはありません。時に過去のシステムが形を変えて生き残り、時に前近代的と一蹴されていたものが再来するなかで、小さな変化が堆積していくのが現実です。

本講座では、過去の否定形として<いま>を語るのではなく、人びとの生きづらさと向き合うフロントランナーのみなさんから最前線で起きつつある現実を学び、彼らが過去の何をどう活かして、いまをどう変えていこうとしているのかを考えます。未来を私たちの言葉で語り、定義することが本講義のねらいです。

井手英策

10・26|±  
14:00-17:00

<プロローグ>  
ポストsomethingが抱える  
意味と向き合う 1

私たちが未来を語る時<ポスト>という表現を使う。だが、<今のあと>では何も未来を語ったことにはならない。第1回は、戦後日本の福祉国家の根底にあった思想を問い返しながら、<何を变えるべきなのか>を考えていく。

11・30|±  
14:00-17:00

人とつながり、  
まちを元気にする 2

政府による行政サービスだけでは、一人ひとりの生きづらさと向き合うことはできない。マイナスをゼロに戻す社会保障を超えて、マイナスをプラスにかえ、各人が<今日よりも素晴らしい明日>を構想する自由を手にするための条件は何なのかを探る。

ゲスト講師 加藤 忠相(株式会社あおいけあ 代表取締役)

12・21|±  
14:00-17:00

笑顔と共生のための  
教育 3

戦前の教育は国民の養成が、戦後の教育は生産性の高い労働者の育成が重要な課題だった。歴史の転換点、とりわけ<共生>が求められる時代にあって、教育はいかなる目的を追求すれば良いのか。多様性を重んじる時代、地域が担い手となる時代の教育のありかたを問う。

ゲスト講師 白井 智子(NPO法人新公益連盟代表理事)

1・11|±  
14:00-17:00

若い世代なくして  
日本はない 4

若者の保守化が叫ばれて久しい。だが、思想的な偏りの問題だけではなく、<現状肯定>という名の諦めが、とりわけ政治の世界で、若い人たちの間に蔓延しつつある。こうした閉塞状況を打開していくための実践とその可能性について議論する。

ゲスト講師 能條 桃子(NO YOUTH NO JAPAN代表理事  
FIFTYS PROJECT代表)

2・22|±  
14:00-17:00

社会の一隅に  
「あかり」を灯す 5

基本的人権のひとつ<生存権>の理念を現実の制度に反映させたのが生活保護である。ところが、生活保護による生存保障機能が弱体化し、国を相手にした訴訟・違憲判決が相次いでいる。

弱い立場に置かれた人たちの権利保障はどうあるべきかを考える。

ゲスト講師 小久保 哲郎(あかり法律事務所 弁護士)

3・15|±  
14:00-17:00

<エピローグ>未来像を  
私たちの言葉で語ろう 6

これまでのセッションで学んだ理論と現実を振り返りながら、ポストsomethingではなく、私たちの思想、私たちの言葉で、来るべき日本社会の未来を構想する。

## 進め方

過去の否定によって<いま>を語るだけでは、未来を切り開くことはできません。これまでの歴史や見出された理論に学び、小さな変化の堆積により変わる<今>を見定め、誰もがより良く生きるために必要な一歩を踏み出すことが肝要です。「ソーシャルワーク」、「教育」、「法(命)」、「若者と政治」といった多彩な領域で、明るい未来のために他者と連携し、力強く歩み続けるフロントランナーとともに、私たちがそれぞれの立場でできることを探索してみたいと思います。

## 開催概要

日程	2024年 10/26、11/30、12/21、 2025年 1/11、2/22、3/15（すべて土曜日）
開催形態	ハイブリッド(丸の内キャンパス・オンライン)
回数	6回
時間	14:00-17:00(3時間)
定員	25名
会場	丸の内キャンパス、オンライン(Zoom)
参加費	110,000円(税込)
おすすめしたい方	・日本が抱える諸問題について理想と現実の双方から多面的に考えたい方 ・未来のために力強く歩み続ける各界のフロントランナーの肉声を聴いてみたい方 ・過去の否定形ではなく、私たちの言葉で未来の社会のあり方を語り、定義したい方
詳細・申込み	

## 講師プロフィール

### 井手 英策 (いで・えいさく)

1972年福岡県生まれ。東京大学大学院経済学研究科博士課程修了。博士(経済学)。日本銀行金融研究所に勤務。その後、東北学院大学、横浜国立大学などを経て、現職。専門は財政社会学、産業社会学。総務省、全国知事会、全国市長会、日本医師会、連合総研等の各種委員のほか、小田原市生活保護行政のあり方検討会座長、朝日新聞論壇委員、毎日新聞時論フォーラム委員なども歴任。2015年大佛次郎論壇賞、2016年慶應義塾賞受賞。

### 主な著書

『ベーシックサービス:「貯蓄ゼロでも不安ゼロ」の社会』(小学館新書)  
『経済の時代の終焉』(岩波書店)  
『分断社会を終わらせる——「だれもが受益者」という財政戦略』(筑摩書房)  
『財政から読みとく日本社会—君たちの未来のために』(岩波ジュニア新書)  
『富山は日本のスウェーデン 変革する保守王国の謎を解く』(集英社新書)  
『欲望の経済を終わらせる』(集英社インターナショナル)  
『どうせ社会は変えられないなんてだれが言った?~ベーシックサービスという革命~』(小学館)

本講座は【ハイブリッド】形態で開催いたします。お申し込みにあたっては下記をご確認下さい。



丸の内キャンパス

どちらも参加可能



オンライン

### ハイブリッド開催

- ・丸の内キャンパスとオンラインのいずれでも参加可能です。
- ・参加方法は毎回選択していただけます。ご希望は開催前にお伺いします。

### オンライン参加方法

- ・オンライン会議システム Zoom を使って配信します。パソコン (またはスマートフォン、タブレット) およびインターネット環境があれば、どこからでもご参加いただけます。
- ・Zoom を初めてご利用の方には操作方法をサポートいたします。

お問い合わせ

東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル10階 株式会社慶應学術事業会  
TEL:03-5220-3111 info@keiomcc.com

